

警察署協議会議事録

協議会名	令和4年第3回宮城県若柳警察署協議会
開催日時	令和4年10月31日（月） 午前10時00分から 午前11時10分まで
開催場所	若柳警察署 3階大会議室
出席者等	<p>1 協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席委員～中川敬一会長、今野やす子副会長、菅原美智子副会長、佐々木定行委員、小野寺勝典委員 ・ 欠席委員～なし <p>2 警察署側</p> <p>署長、次長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長</p>
議事概要	別紙のとおり
備考	

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

<p>議 事 概 要</p>	<p>1 報告事項、協議事項</p> <p>(1) 令和4年1月から9月までの管内の治安情勢について（署長）</p> <p>ア 刑法犯の発生・検挙状況等 刑法犯認知件数63件、検挙件数34件、検挙率54.0%</p> <p>イ 特別法犯の発生・検挙状況 総数11件</p> <p>ウ 非行少年等の検挙・補導状況 特別法犯検挙3人、ぐ犯通告1人、不良行為少年の補導10人</p> <p>エ 交通事故発生状況 人身事故20件（死亡事故なし）、物損事故340件</p> <p>オ 警察安全相談の受理状況 受理件数718件</p> <p>(2) Jアラートへの対応について（警備課長） 警備課長が</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Jアラートの概要 ・ Jアラートの仕組み ・ 北朝鮮によるミサイル発射事案 ・ 警察の対応 <p>及びJアラートへの対応要領について Jアラートが鳴った場合は、慌てずに身の安全を確保し、不審な物を発見したときは近寄らずに警察へ通報することを説明した。</p> <p>(3) 意見・要望に対する措置結果について 第2回（6月29日）協議会において委員から出された コロナ禍において、管内の犯罪の発生情報や対策について、どのようにすれば住民に伝えられるか、また自分より上の年齢や立場の方に効果的に伝えるにはどのようにすべきか。との意見について、地域課長から 地域警察官が出向くので、声を掛けていただきたい。 警察では、地域安全活動として、防犯講話、交通安全推進会議やお茶っこ会等の会合、防犯訓練等に地域警察官が参加させていただき、地域の犯罪発生状況や交通事故の発生状況等について御説明させていただいている。 特に特殊詐欺被害防止活動については、管内の各種イベントに参加したり、薬局やスーパーマーケットに協力を仰ぐなどして、あらゆる機会を捉えて広報を実施している。 また、特殊詐欺の被害防止に関することや熊が出没したなどというタイムリーな内容などをより幅広い方に周知する方法として、新聞店に折り込み広告を入れていただくなどの施策を実施している。 と説明した。</p>
----------------	--

2 協議事項への質問・意見要望等について

○ 委員

Jアラートが鳴った場合は身の安全を確保するのが最優先だと思うが、警察では鉄筋コンクリートの建物や地下がある建物について、その数や場所を把握しているのか。

地域の方々にもどこに避難すべきかPRする必要があると思うがいかがか。

● 警備課長

一般的な避難場所として公民館や総合支所を把握してはいるが、Jアラートに関する避難場所として直接の把握はない。

Jアラートに関係する主体は県や市であるが、警察は住民の方の避難誘導を担っているので、連携を取りながら取り組んでいきたい。

○ 委員

私どもも地域内の会議の時に質疑があれば回答しなければならないので、できれば知っておきたいところである。

総合支所は、鉄筋ではなく木造のものもあり、また、この辺りは地下のある建物はないが、どのようにすべきか。

● 警備課長

栗原市に限った話ではないが、報道によると、宮城県が新たな避難場所の指定などを検討しているようだ。今後そちらからの情報を踏まえながら警察でも広報していく形になると思われる。

● 次長

栗原地域の鉄筋コンクリート造りの建物は、消防署、警察署、学校などの公共機関くらいである。

最寄りの頑丈な建物、御自宅であれば窓の少ないところ、要するに爆風を受けても大丈夫な場所と説明するほかはなく、なかなか難しい。

● 署長

ミサイルが発射されてから到達するまでは数分しかないので、近くの家の中、なるべく頑丈な場所に隠れるしかない。

コンクリート造りなどの頑丈な建物を把握されていれば、そこに避難をお願いしたい。

○ 委員

不良行為少年の数が増加しているようだが、要因などについて教えていただきたい。

● 生活安全課長

今まで新型コロナウイルスの関係で家の中で過ごすことが多かった少年が、最近は外に出て活動的になってきていることが要因の一つと思われる。

なお、一人の少年が複数回補導されることが多く、件数的には増加しているが、少年非行が広がっているわけではない。

引き続き、各種活動を通じて、関係機関とも連携して対策を講じていきたい。

議事概要

- 委員
不良行為少年は段々低年齢化し、中学生が増えてきていると感じられ心配である。
 - 委員
国道4号と細倉線が交わる、旧沢辺小学校付近の信号交差点は、鶯沢方面から来る車により、朝はすごく渋滞しており、また、冬場になると路面が凍結するので危険である。
交通事故のおそれがあるので、信号のサイクルを午前7時から9時までの2時間くらい調整ができないか。
国道4号を優先していると思われるが、渋滞を解消する方法はないものか。
特に、右折する車がなかなか進まない状態となっている。
 - 交通課長
信号サイクルについては、渋滞状況を確認し、対応したい。
また、路面の凍結については、早めに融雪剤をまくなどして、交通事故が起きないように対応をさせていただきたい。
 - 委員
駐在所の警察官に、一人暮らしの高齢者への巡回をお願いしたい。
忙しいとは思いますが、地域を把握するためにも回っていただきたい。
 - 署長
高齢者の方は特殊詐欺被害に遭う可能性が高く、防犯広報等を兼ねて、巡回連絡に力を入れていきたい。
- 3 事務連絡（警務課長）
次回の協議会開催については、令和5年2月頃とし、後日、日程を調整する。
- 4 危険予知トレーニング（KYT）体験
専用シミュレーターを使用し、車を運転した際に遭遇し得る危険な場面を想定した危険予知トレーニングを実施した。